

授業概要

保育における環境の意味について学ぶ。環境を通じた保育、遊びを通じた保育の意味について理解する。教材研究として物的環境、人的環境、社会的環境について考え、環境設定の意味を指導案指導に結び付けて学ぶことで、ねらいと内容についても理解し、環境を題材として指導案指導の作成に挑む。また、その過程を模擬保育にて実践し、保育者の思い、子どもの気持ちについてより具体的に指導する。

授業計画

第 1 回	領域の意味、および総合性という言葉について考える
第 2 回	指導計画におけるねらいと内容の意味
第 3 回	環境の持つ意味についての理解
第 4 回	教材研究としてのモノと関わる遊びについて
第 5 回	園全体の環境 保育課程、長期指導計画としての環境
第 6 回	教材研究としての自然との関わり
第 7 回	子どもが自然から得ること
第 8 回	環境を題材として指導案指導について
第 9 回	身近な物的環境
第 10 回	環境構成に基づく指導案指導について
第 11 回	食物や生き物に触れることの意味
第 12 回	模擬保育 1 指導計画の作成
第 13 回	模擬保育 2 子ども前で保育することの意味
第 14 回	遊びを通じた保育の意味
第 15 回	まとめ 環境と日々の生活の結びつきについて
第 16 回	筆記試験

到達目標

領域「環境」のねらいと内容を理解し、環境が子どもたちに働きかける意味をとらえる。また、「環境」と通じた保育者の援助の内容を理解する。

履修上の注意

定時に出席を取る。遅刻は30分以内までの者とする。電車の遅延などは、大きな事故などの例外を除いて原則認めない。

予習・復習

予習としては、幼稚園教育要領、保育所保育指針の「環境」にあたる箇所をよく読んでおくこと。復習としては、保育の総合性を念頭に各領域との総合的に関連づけること。

評価方法

筆記試験の結果 70%、授業態度 30%とする。欠席が 3 分の 1 を超える学生は受験資格がないので留意すること。

テキスト

- ・教科書名：「コンパス保育内容 環境」
- ・著者名：高橋貴志、目良秋子編著
- ・出版社名：建帛社
- ・出版年 (ISBN)：2018 年